

公共交通、子育て支援、中小企業・労働者応援

先進例を大津市でも生かして

公共交通―住民の声にこたえて

―神奈川県大和市

大和市は南北9キロメートル、東西3キロメートル、平坦な地形で、どの駅にも徒歩15分圏内という恵まれた条件にあります。が、高齢化や子ども連れなどに焦点を当て、民間事業者によるバス以外に、市独自に交通不便地域を設定し、コミュニティバスを走らせています。

さらに自治会が主体となって無償ボランティアで乗り合いバスを運行し、道路の狭い地域をカバー。この乗り合いバスには、市が車両のリース代やガソリン代を支援。この他、自治会からの

提出、利用者による自発的な



→茅ヶ崎市庁舎前で

児童虐待防止、子育て支援策

―神奈川県茅ヶ崎市

要望に応える積極的な姿勢が伺われました。

茅ヶ崎市は年々増え続ける児童虐待の解決のために、虐待だけではなく子育てに不安を感じている親を対象に、コモンセンス・ペアレンティング（CSP）「暴力を使わない、怒鳴らない子育て」の講座に取り組んでいます。

CSPはビデオを見ながら、「子どもが駄々をこねたら…」などロールプレイングで学んでいるもので、実践しやすく、コストも低く、親の学歴や生活レベルなどに関係なく効果があることなどが特徴です。受講前と受

講後のアンケート調査では、怒鳴る回数が10から5.7に半減したなど、しつけに関わる項目で、いずれも自己評価が向上しています。

茅ヶ崎では、今後「怒鳴らない子育て」が常識となるように、トレーナーを増やして普及するとともに、県下の他自治体にも広がるよう、県とも連携して取り組みを進めていくそうです。大津市でも子育て不安の解消は切実です。導入の検討が求められます。

大和市、茅ヶ崎市、野田市へ行政視察

全国の先進的な取り組みを学び大津市政に生かそうと、日本共産党大津市議団で行政視察に取り組みました。今回は、大津市で課題となっている、公共交通、子育て支援（児童虐待防止）、中小企業支援・雇用対策について視察してきました。



→大和市を巡回する「コミュニティバス」

中小企業・労働者を守るために

―千葉県野田市

野田市では、市内の事業者との懇談の中で、市長自らが公共工事に従事する労働者の賃金アップが必要と感じ、業種ごとに最低賃金を設定した公契約条例を制定しました。

二次、三次下請けも含めて、事業者が最低賃金を守っているか、行政がチェック機能を果た

しています。市の業務の増加、公共事業費も一定多くなりますが、事業の質の確保にもつながっているということです。

野田市は国が公契約法を制定することを求めており、条例を制定する自治体が広がること、法制定を促進することにつながり、地域経済の活性化につなが



↑講座の様子（茅ヶ崎市ホームページより）。CSPとは...Common Sense Parentingの略で「誰でもできるしつけ」の意

ていくと期待されています。大津市でも制定できるよう求めていきます。

2月市議会は、2月20日開会です。ぜひ傍聴にお越しください。詳しい日程は裏面に↑

地域住民と共に歩む地方自治を

滋賀県地方六団体シンポジウム 「みんなで考える自治」に参加

2月10日、近江八幡市で開催された、滋賀県地方六団体シンポジウム「みんなで考える自治」に参加しました。

いま地方分権改革により、今まで政府が握っていた権限や財源を地方へ移すことで地方公共団体の自己決定と責任が拡大する中、地方議会の役割と責任、住民自治のあり方について、あらためて見直しがされています。

した。歳入確保のための土地の有効利用、住民が作った町の総合計画、議会基本条例を制定し議会での政策形成や評価機能を高める取り組みなどが熱く語られました。

いま自治体と住民が一体となって地方自治を充実させていく取り組みが求められていると思います。地方議員には、住民の意志を政治に反映させる役割があります。いまこそ住民の視点に立った議会運営が求められていると感じました。

(石黒かつ子)

シンポジウムの前半は、東京市政調査会理事長の西尾勝氏から、地方分権改革の究極の目的は、住民が積極的に自治に関わり、提言や運動をおこなって住民サービスを向上させることだという講演が行なわれました。

後半はこれを受けて、地方自治の充実についての具体的な取り組みが、各首長や地方議会の代表によって紹介されま

←シンポジウムの様子



香川県豊島の汚染土壌処理 住民不安にこたえ、計画は白紙撤回を

香川県豊島の汚染土壌を、大津市伊香立途中の民間の産廃処理場で処理する計画が進められていることについて、多くの住民が不安を抱えています。

市北部地域の3土地改良区主催で、香川県と大津市の担当課、事業者を呼び開かれた住民説明会に、農業関係者や地域住民など、約120名が参加。党市議団から私も参加しました。「風評被害で、米

が売れなくなれば保障を考慮するのか?」「山崎砂利(事業者)は、過去に本来放流させないはずの汚水を何度も川に流したり、同社が経営する安定型処分場で硫化水素を発生させる事故を起こしている。信用できない」など、怒りの声が噴出。

私も、これまでの議会を取り上げてきたことを指摘した上で、再度、周辺住民の合意を得るまでは汚染土壌の処理を行わないこと、市に事業許可の凍結を求めて

しは考えていない」という回答に終了しました。地域住民の安全を守ること、ひいては近畿1400万人の飲み水を守ることへの姿勢が問われています。

(岸本のり子)

大津市長選挙結果について

1月22日実施の大津市長選挙では、日本共産党が推薦した「いちと暮らしを守る大津市政をつくる会」のひがし昌子氏が、「脱原発」や福祉都市大津の実現を訴え善戦したものと及びませんでした。日本共産党大津市会議員団は、選挙戦の中で寄せられた市民のみなさんの「脱原発」への願いや医療・福祉・子育ての充実への願いを実現するため、引き続き奮闘する決意です。

2月定例市議会の日程

- 2月20日(月) 開会日
- 27日(月) 各派代表質問
- 28日(火)～3月1日(木) 質疑・一般質問
- 3月5日(月)～7日(水) 予算特別委員会
- 9日(金) 常任委員会
- 13日(火) 予算特別委員会
- 14日(水) 特別委員会
- 16日(金) 閉会日・議案採択

【主な議案】

老人ホーム改修補助、中学校給食実施に向けた調査費などを含む2012年度大津市一般会計予算(約1024億円)、開発指導要綱の条例化など



→会場いっぱいになった住民説明会。